

<p>学個別校力目・標 4 師力を向上させます</p>	<p>校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。</p>	<p>①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。</p> <p>②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特徴を生かしたりして教育活動を行っている。</p> <p>③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>4</p> <p>成果指標 A:とても思う B:少し思う C:あまり思わない D:まったく思わない 回答者数 16/16名</p> <p>成果評価 4:肯定的評価が90%以上 3:肯定的評価が80%以上 2:肯定的評価が70%以上 1:肯定的評価が70%未満</p>	<p>A: 14名 B: 1名 C: 1名 D: 0名</p>	<p>4</p> <p>◆教員の資質・指導力向上のために、区主催の研修会、区内の研究発表会や房総3校研究協議会の授業公開に積極的に参加することができた。またICT教育の指導向上を図るため、ICT教育支援員を交えた「ミニ研修」を15回程度実施し、最新のソフトの使用法や児童への効果的な使い方について理解を深め、指導に生かすことができた。次年度は、館山市内近隣校との研修交流を模索していく。</p> <p>◆本校の「児童に対して一人一人の良さを認め、伸ばす指導をしている。」という質問内容に対して、全家庭から肯定的な評価をいただいた。児童が生き生きと活動できるよう、次年度も取り組みを続けていく。</p>	<p>A B C D</p>	<p>6 0 0 0</p> <p>◆立地的な不利があるとは思いますが、よく工夫されていると思います。</p> <p>◆こどもたちの様子を見てみると、児童一人一人を理解し、指導している教職員の方々の、陰の努力がうかがえます。</p> <p>◆個に視点をあて、様々な取り組みを通して、自身を高めていると思います。それが、あらゆる面で成長につながっていると思います。</p> <p>◆校内外の研修が充実していてよいと思います。</p>
<p>た自個め分別のら目学し標 びく5 をいき支援助いしとす生きる</p>	<p>困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整え、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。</p>	<p>①学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。</p> <p>②スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。</p> <p>③問題行動・不登校問題等にかかわる児童・生徒に関するケース会議等を実施する。</p>	<p>4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満の教員が回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満の教員が回答した。</p> <p>1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:必要な事案に対して必ず会議を実施し、組織的に対応した。</p> <p>3:必要な事案に対しておおた会議を実施した。</p> <p>2:必要な事案に対してあまり会議を実施しなかった。</p> <p>1:必要な事案に対してほとんど会議を実施せず、組織的な対応をしなかった。</p>	<p>4</p> <p>年度末保護者アンケートで「学校は、子供たち一人一人の良さを認め、伸ばす指導をしているか。」という質問項目で、</p> <p>A:とても思う B:少し思う C:あまり思わない D:まったく思わない E:わからない 回答者数 16/16名</p> <p>成果評価 4:肯定的評価が95%以上 3:肯定的評価が90%以上 2:肯定的評価が80%以上 1:肯定的評価が80%未満</p>	<p>A: 14名 B: 2名 C: 0名 D: 0名 E: 0名</p>	<p>4</p> <p>◆教員や宿舎指導員の「ルールを守り、相手を意識した学校・宿舎生活意識の向上」を目指した生活指導は、粘り強く取り組みを続け定着してきている。日頃から児童が孤立させることなく、互いに関わり合うことを意識させ、相手を思いやると同時に自分を大切にする点も重点に、今後も指導を行う。また各家庭・保護者とも連携し、SNSなども含めた社会的規範意識を向上させていく。</p> <p>◆今年度は区内スクールソーシャルワーカー(SSW)と連携し、家庭支援を含めた教育相談の充実を図り、進路などの相談支援を多角的に実施した。卒業後も継続した支援につながるよう諸機関との連携に尽力していく。</p> <p>◆児童間の些細なトラブルにきめ細かに対応し、各児童に対して指導や心のケアを行うことができた。今後も児童の心の様子を探るメンタルヘルスチェックや学級内児童の人間関係を探るハイパーQU調査などを通じて、児童の観察をより細やかに、いじめの未然防止に努めていく。</p>	<p>A B C D</p>	<p>6 0 0 0</p> <p>◆一人一人の課題に対して、教員・宿舎の皆さんで情報を共有して進められていることが、素晴らしいと思います。</p> <p>◆基本的なルールを守れているから、こどもたちの成長が見て取れます。</p> <p>◆学校生活と家庭生活両方が見れるのは、成長を促すにはとても良いことだと思います。学校と家庭の連携が大切といわれている中ですので、今後もさらに深めていけると、さらによいのではないのでしょうか。</p> <p>◆宿舎での生活が、児童を育てている面が大きいと思います。良い方向に児童の意識が向上できていると思います。</p>
<p>安柔個心軟別で目教創標 育造6 環的な学つ習く空間と安全</p>	<p>学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。</p>	<p>①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。</p> <p>②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>4</p> <p>年度末保護者アンケートで「学校は、避難訓練などを通して、安全に関する教育を適切に実施しているか。」という質問項目で、</p> <p>成果指標 A:とても思う B:少し思う C:あまり思わない D:まったく思わない E:わからない 回答者数 16/16名</p> <p>成果評価 4:肯定的評価が90%以上 3:肯定的評価が80%以上 2:肯定的評価が70%以上 1:肯定的評価が70%未満</p>	<p>A: 9名 B: 5名 C: 0名 D: 0名 E: 2名</p>	<p>3</p> <p>◆避難訓練については、年間13回を計画し、学校・宿舎ともに連携しながら早期や夜間も含めた時間帯を設定して実施した。館山消防署神戸分署の協力を得て合同避難訓練も実施した。保護者への周知について、帰省帰校時の保護者会などを通じてより充実を図っていく。</p> <p>◆安全指導日には、全校一斉で体育館にて、校内校外での安全や交通安全、防災、長期休業中の過ごし方などについて指導を行った。また、救命救急講習については、年度当初に設定・実施することができた。次年度以降も継続していく。</p>	<p>A B C D</p>	<p>6 0 0 0</p> <p>◆様々な場面を想定した訓練が行われており、充実していると思います。</p> <p>◆安全については、終わりが無い課題です。やってもやっても終わらないことですが、継続して行くことが大切です。</p> <p>◆できる限り、地域とも連携して行っていて、よいと思います。</p>
<p>学地学個校域校別をコ・目つミ家標くコ庭7リニ・まテ地域の核連と携し・て協働による</p>	<p>地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特徴を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体でこどもたちを育成します。</p>	<p>①家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。</p> <p>②自然や地域の人材を生かした、体験活動を取り入れた授業や行事を行う。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上の教員が回答した。</p> <p>2:60%以上の教員が回答した。</p> <p>1:60%未満であった。</p>	<p>4</p> <p>年度末保護者アンケートで「学校は、情報公開することができるか。」という質問項目で、</p> <p>成果指標 A:とても思う B:少し思う C:あまり思わない D:まったく思わない E:わからない 回答者数 16/16名</p> <p>成果評価 4:肯定的評価が90%以上 3:肯定的評価が80%以上 2:肯定的評価が70%以上 1:肯定的評価が70%未満</p>	<p>A: 7名 B: 4名 C: 4名 D: 0名 E: 1名</p>	<p>2</p> <p>◆ホームページの情報公開では、日々の教育活動や宿舎での活動、月の献立、行事関係について保護者の要望は高く、特に意識して情報を更新するよう努めた。また副校長訪問の事前調査や教育活動アンケートなどにGoogleFormsを用いるなど情報化に努め利便性を図った。しかし、保護者の肯定的評価は70%の結果となった。見やすいホームページへのリニューアルや、周知活動も含めて、次年度以降も強力で推進していく。</p> <p>◆地域教育連絡協議会を、学校公開(道徳授業地区公開講座・運動会・学習発表会)時に開催した。特に道徳授業地区公開講座では、御参観いただいた委員の方から温かなお言葉やコメントをいただいた。また委員のご尽力のおかげで農に関する体験教育活動を実施できている。次年度も継続して実施する。</p>	<p>A B C D</p>	<p>6 0 0 0</p> <p>◆保護者と物理的な距離が離れている中、IoT等を活用し、工夫して連携が図られていると思います。</p> <p>◆活動、行事なども案内からしっかりしている。行事に参加しても、子ども・教職員の姿が輝いている。</p> <p>◆保護者とのつながりは、各自の考えもあると思いますので難しいことですが、ホームページの活用などを通して工夫されておられると思います。掲示物を見ると、とても良いものがあります。距離でしようか。</p> <p>◆地域へ公開する機会を設けてくださり、相互理解も深まっています。よいと思います。</p>

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。